

令和3年3月卒業生向け 求人票

保育者からのメッセージ

求人先	事業所名	ののみちこども園			
	設立法人名	社会福祉法人 三宝会			
	代表者	理事長・園長 橋本 篤典			
	所在地	〒525-0059 滋賀県草津市野路6丁目8番10号 TEL 077-565-3787 ※JR琵琶湖線 南草津駅から徒歩6分 FAX 077-565-3873			
	書類提出先	同上			
	人事担当	副園長 白井 茜			
	事業内容	幼保連携型認定こども園			
	設立	平成16年4月			
	全従業員数	38名(内 男性2名 園長、事務長) 【正規職員26名、臨時職員2名、パート職員10名】			
求人数等	勤務先	ののみちこども園			
	所在地	滋賀県草津市野路6丁目8番10号			
	職種・求人数	保育教諭2名(正規職員)			
勤務条件	賃金	賃金形態	月給	賞与 <small>有(夏・冬・年度末 約4か月)前年度実績 ※別途処遇改善手当有り</small>	
		基本給	171,000円(短大卒) 185,600円(大学卒)		交通費 上限 15,000円まで
	勤務時間	平日	変形労働時間制	有り	
			① 7時00分～16時00分 ② 7時30分～16時30分 ③ 8時00分～17時00分 ④ 8時30分～17時30分 ⑤ 9時00分～18時00分 ⑥ 9時30分～18時30分 ⑦ 10時00分～19時00分 ※うち休憩時間60分		
		残業	月平均1時間～3時間		
		土曜日	7時00分～17時00分のうち実働8時間 ※職員会議 1回/月、その他 3～4回/年		
	休日等	休日	日曜日・祝日 年間休日数105日(休日カレンダーによる)		
		有給休暇	初年度 10日/最高 20日		
	労働組合	無			
	加入保険等	健康・厚生年金・雇用・労災			
社会福祉法人三宝会特別退職金(在籍年数2年目から) 福祉医療機構退職手当共済制度・滋賀県民間社会福祉事業退職共済制度					
応募選考要領	応募方法	自由応募	事業所訪問	可 ※事前連絡要	
	必要書類	履歴書	採用試験 受付期間	令和2年9月14日(月)～ 令和2年9月28日(月)必着	
		成績証明書 卒業見込証明書 健康診断書 保育資格取得見込証明書	試験日時	令和2年10月3日(土) 午前10時から	
		書類提出方法	試験会場	本園	
合否	合否通知日	採用試験受験後10日程度	試験内容	筆記(小論文) 面接 実技(ピアノ) ※自由曲	
補足事項	浄土宗 教善寺の境内地にあり、「見守る保育」(メソッド)を実践しています。		携帯品	筆記用具・ピアノ教則本・上履き	
			通知方法	郵送	

【保育教諭経験4年目 N先生】

ののみちこども園で働き始めて3年が経ちました。先輩の先生方は、奉職当初、何も分からず不安だった私のことをいつも気にかけてくださり、保育の楽しさを優しく教えてくださいました。そんな先生方のおかげで毎日安心して働くことができ、現在も楽しく仕事ができています。まだまだ分からないことがたくさんあるので、諸先生方の姿を見て、少しずつ吸収し、自分の引き出しを増やしていけたらと思っています。

ののみちこども園に通っている子どもたちも、優しい先生方をいつも見ているからか、心の優しい子どもばかりです。年下の子が失敗をしてしまっても「そんな時もあるよね～」など、おもしろおかしく励ましてくれたりもします。ののみちこども園は、そんな微笑ましい子どもの姿がたくさん見られる素敵な園です。

【保育教諭経験16年目 T先生】

ののみちこども園で働き始めて15年が過ぎました。奉職当初、何も分からない私を、保育の楽しさ、社会人としてのマナー、人との心のふれあいの心地良さなど…園長先生をはじめ保育者の皆さんに学ばせていただき、現在に至っています。楽しみながら幼い頃の夢を仕事にできている喜びを感じています。

【採用担当窓口からのメッセージ】

「手を合わす心、育てよう。」の法人理念のもと、産休・育休制度を利用し、子育てと両立しながら活躍している職員もたくさんいます。保育者全員で互いをサポートし合う環境が当園には整っています。

長く働く職員が非常に多いことが私たちの自慢です！令和元年7月より、認可保育園からこども園に移行！そして園舎もリニューアルいたしました。

私たちと一緒に新しい施設で働きませんか♪

【保育教諭経験6年目 U先生】

昨年度、5歳児の担任をしていました。そのため、年長児ならではの活動や、様々な行事に園の代表として参加することが多くあります。「行事」というと皆さんはどのようなイメージを持ちますか？「楽しい」「賑やか」というポジティブなイメージがある反面、「大変そう」「子どもたちをまとめられるか心配」という不安もありますよね。私も初めは不安でいっぱいでした。しかし、ふと気づくといつも楽しんでいる自分がいました。忙しく疲れたなど感じることはあります。それでも笑って過ごせるのはなぜか。理由の一つは「子ども主体の保育」をしているからです。保育者が子どもをまとめるのではなく、子どもたち自身が「やりたい」と思ったからこそ、意欲的に取り組んでいます。子どもの発信をつなげていくことが保育者の役割だと思っています。保育者も一緒になって子どもと楽しみながら参加することができています。二つ目の理由は、「チーム保育」であることです。困った時に相談にのってくれる先生、細かい作業が得意な先生、ピアノが上手な先生、何気ない話を聞いてくれる先生…いろんな仲間を支えられて今の自分があると感じます。人それぞれに得意・不得意があるのは当たり前で、それは子どもも大人も同じです。一人ひとりの良さを生かせる場所、それがののみちこども園です。

【保育教諭経験8年目 S先生】

子どもは毎日、たくさん笑って、泣いて、様々な事を経験しています。0、1歳児は毎日一緒に生活しています。その中で、ご飯の食べ方やおもちゃの遊び方から、身の回りの事まで、様々な月齢の子ども同士がお互いに刺激を受け、真似をし合うことで学んでいます。これは保育者だけでなく、同じ年齢の子どもや少し月齢の高い子どもがいるからこそ育つ力だと思います。大人が「こうするんだよ」と教えるよりも、友達が無気なくやっているのを見て真似する事の方が、子ども達の中にずっと入り込んでいくことを、保育をしている中で子ども達から感じています。